

急性細気管支炎

○どんな病気？

赤ちゃんにRSウイルスやヒトメタニューモウイルスなどのかぜウイルスに感染して、ゼイゼイ・ヒューヒューと息苦しくなる病気です。

咳や鼻水などのかぜ症状から始まりますが、しだいに咳がひどくなりゼイゼイと苦しそうな呼吸になってきます。特に、6か月未満の赤ちゃんは大変重症になりやすい傾向がありますので、要注意です。

気管支～細気管支は、肺に酸素と二酸化炭素を運ぶ大切なパイプの役目をしています。その大事なパイプが炎症をおこしてしまい、腫れて、細くなるため空気の通りが悪くなり、ヒューヒュー・ゼイゼイという呼吸をします（喘鳴）。徐々に、酸素を思うように肺に運べなくなり、体の酸素濃度が下がり、顔色、唇の色、爪の色が悪くなります（チアノーゼ）。そのため、呼吸の回数を多くして、体の酸素を何とか保とうとしますので、呼吸数が増えます（通常は1分間に40回、多呼吸のときは1分間に60回以上）。

重症な場合は入院して、酸素吸入が必要になることもあります。

○こんなときは救急受診を

- ・ゼイゼイ、ヒューヒューして苦しそう（喘鳴）
- ・呼吸が早い（60回以上）
- ・胸やおなかをペコペコさせて呼吸をしている。（陥没呼吸）
- ・おっぱいやミルクが飲めない、飲んでも咳で嘔吐する
- ・機嫌が悪い、笑わない
- ・眠れない、横になれない



さくらキッズクリニック
sakura kids clinic